

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	商学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果 (研究科)
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員(教職員および学生等)に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 研究職コースについては、学生を定着させ5年間で学位取得者を着実にする。	→研究職コース指導委員会のあり方を再度チェックし、指導状況の報告回数。	A	B	A	A	
2. 専門学識コースについては、2年間で体系的かつ高度な専門知識を提供する。	→修士論文の成績評価および修士学位取得者としての就職状況。	B	B	B	B	
						☆
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	研究職コースにおいて5年間で学位取得する学生が輩出されており、徐々に定着しつつある。研究職コース指導委員会からの指導状況報告は規定通り2ヶ月ごとに報告されており、指導委員会のあり方について現状では特に問題視されていない。学位取得の途中で、課程博士学力試験や公開による課程博士候補者試験によって、指導委員以外からも指導、レビューされている。2012年度には学位論文評価基準も明文化し、学位取得プロセス図とともにWebサイトに掲載されており、進捗度評価はAとした。
目標2	専門学識コースでは2年間で体系的かつ高度な専門知識を提供するとともに、報告や討論などで思考力を身につけることに留意した授業が行われている。2012年度は、修士論文の成績もすべて一定レベルを満たしていた。修士学位取得者の中には公認会計士や税理士を目指し、就職せずに資格試験受験に専念する者などがいるため、就職状況の統計上は若干低く表示される。進捗度評価は昨年度と同様にBとした。
備考	